

文理学院が学研塾 HD の仲間入り

今年 11 月 13 日(月)、文理学院は「学研塾ホールディングス」の仲間入りをいたしました。日本経済新聞や山梨日日新聞などの記事で驚かれた方も多かったようですので、この場を借りて塾生と保護者の皆様にもお伝えしておこうと思います。

学習塾・予備校業界はこの 10 年ほどの間に激動の時期を迎えており、倒産・廃業に追い込まれる塾もあれば、業務縮小を迫られる予備校も散見されます。同時に少子化の進む日本国内で生き残りをかけた M&A (企業の吸収合併) も盛んに行われてきました。これも少子化の影響と学習機関の飽和状態によるものだと分析しています。

そのような厳しい市場環境のもとで、業界内で異彩を放つ「文理学院」に対して、いくつもの大手学習機関からグループインのオファーを頂いてきました。その中で現理事長である加賀公英が 4～5 年の歳月をかけ、結論を出したのが「学研塾 HD」への参入ということでした。それには様々な理由がありました。

学研からすると文理学院は大変魅力のある企業であったこと。①指導理念と指導方法、②教師の育成方法、③健全な財務体質などがそれらに当たりますが、その根底の 1 つに文理の経営手法や現場での指導内容などを同グループ内の他の学習塾にも学んでいただき、さらにグループ全体で活性化を図りたいという狙いがあるということです。

文理からしても学研塾 HD への参入は大きなメリットがあります。①会社がよりパブリックな存在になることで、社内の活性化に繋がる、②東証 1 部上場企業の仲間入りをすることで優秀な人材の確保がしやすくなる、③社員の福利厚生面でも今まで以上に充実することができるなどです。また、学研塾 HD の掲げる講師憲章には次のようにあります。①挨拶や授業中の姿勢を指導、やる気を引き出す、家庭との連携、②遅く生きる人間に育てる、③感謝の心と利他の精神を持った、社会貢献できる「人財」を育てる……これらは文理学院の指導理念と全く同じでありますし、学研塾 HD の「目指すは売上日本一ではなく、教育で日本一になる」という言葉も、売り上げや利益を優先して社業を進めてこなかった文理学院にとっては大変共感できるものであると考えています。

教育に対する考え、企業理念を同じくする者同士が、相思相愛の中で日本の未来の教育のために手を結ぶ……ごくごく自然な流れで、今回のグループインの話が進んできたわけです。

文理学院はこれまで通り地域に根差した学習塾運営を行って参りますし、学研との連携でこれまで以上の上質な教育サービスが提供できればと考えていますので、今後ともよろしく願いいたします。

(株)文理学院 教師・スタッフ一同

<学研塾ホールディングスの概要>

社名 株式会社学研塾ホールディングス (Gakken Juku Holdings Co.,Ltd.)
所在地 〒141-8411 東京都品川区西五反田二丁目 11 番 8 号
設立 平成 22 年 4 月 1 日
資本金 10,000,000 円

<学研ホールディングスの概要>

社名 株式会社学研ホールディングス (GAKKEN HOLDINGS CO.,LTD.)
所在地 〒141-8510 東京都品川区西五反田二丁目 11 番 8 号
設立 昭和 22 年 3 月 31 日
上場 昭和 59 年 東証市場第一部上場
資本金 18,357,023,638 円
年商 99,049,000,000 円(連結)

冬期講習がいよいよ始まります。

中 3 は入試対策の一環として、各地域・各県に合ったカリキュラムで指導していきます。中 1・中 2 も 1 月・2 月の学校内テストへ向けての対策授業となります。特に、静岡県内の 16 校舎では 1 月 11 日(木)実施の「静岡県学力診断調査」へ向けての対策授業となりますので、たいへん有意義な講習会となります。

現在、冬期講習生の募集を行っており、いよいよ締め切り間近となっておりますので、ご検討のお知り合いがございましたら、ぜひとも文理の冬期講習をお勧めいただきたいと思います。詳しくは HP、新聞折り込みチラシをご覧ください。

冬期講習生募集中。勉強で熱い冬にしよう！！

小学校での英語、教科化へ。

現在、小学校高学年で教科外活動として行っている英語の授業。様々な課題を抱えながら実施されてきましたが、2020年から小5・小6で正式科目として指導されることが決まっています。同時に、小3・小4でも教科外活動として指導が開始されるわけですが、実際に生徒の周りではどのようなことが起こってくるのでしょうか。

正式科目となる、ということは①週に2～3日、英語の授業がある、②テストなども実施し、成績がつく、③成績を上げるために英語を習いに通塾する生徒が増える……などが実際に起こる現象であると思われれます。また、授業では現在の中1英語のイメージで指導されていくそうなので、当然のことながら中学・高校・大学入試で要求される英語にも大きな変化が出てくるでしょう。

それらの改革の根底には「知識を習得させる英語教育から、知識を活用することができる英語教育へ。」という国策があります。

改革でのメリットは、①英語学習の時間が増え、能力の向上に繋がる、②教科化することで公立小学校の現行の英語教育の格差が縮まるなどが考えられます。

その反面、デメリットとしては、①他の科目の授業時間が削られる、

②日本語の習得も完全ではないため、言語力に関してどっちつかずになる可能性が高い、③教科化に伴い子どもを通塾させることのできる家庭と、できない家庭との格差が広がるといったことが考えられます。

また、有識者の中には「将来、英語を本当に必要とするのは国際社会で活躍する一部のエリートでは?」、「AIなどの発達で、母語を英語に変換できる技術は格段に進んでいるので、英語力って?」といった改革に難色を示す方々もいます。

そしてなにより課題として、「英語を担当する教師の力量・質が全国レベルで整うのか?」という基本的なこともあります。

いずれにせよ、「日本の英語教育の過渡期」を迎える渦中に、みなさんは存在するわけですから、しっかりと準備をしていかななくてはなりませんね。

文理では英検合格への指導を通じて、塾生の英語力を付けさせます!

校舎長紹介シリーズ 第1弾

校舎長は地域の顔、文理の看板教師です。

文理学院は山梨県、静岡県に30校展開する学習塾です。各校舎には校舎長(責任者)がおり、非常に個性的な人たちばかりです。これからしばらくの間、校舎長をみなさんに紹介していこうと思います。今回は大活躍中の4名の校舎長を紹介します。



都留市 都留本部校 渡辺校舎長
文理の総本山である都留本部を任されている渡辺校舎長。文理内でも郡内地区全域を渡り歩いてきた彼の教育理念と生徒たちにかける思いとは……



静岡市 長田校 小森校舎長
静岡市内2校舎目の長田校は、現在中学3年生が満席になるほどの人気校です。大手予備校でも手腕を振るってきた小森校舎長の信念とは……

こんにちは! 都留校舎の責任者をしていきます渡辺健と申します。入社して初めて配属された校舎が都留校舎でした。そこからいろいろな校舎を経験し、また都留校舎に戻ってくることができました。生徒の元気な校舎は、生徒の成績も高いです。とにかく元気な所が私の強みなので、校舎の元気な仲間たちと協力して都留校舎を明るく楽しくしています。大変な勉強も、楽しさと元気と仲間がいれば大丈夫! 安心して私たち都留校舎にまかせて下さい。

私が文理に入社してから5年、長田校を担当してから3年が経過しようとしています。そんな私が、入社した時から今も心に持ち続けていることは「塾生・保護者のための校舎運営」を行うということです。当たり前のように聞こえるかもしれませんが、大手予備校時代にはそれだけを考えて仕事をすることはできませんでした。でも、文理は違います。それだけに集中できる社風があります。今は仕事が楽しくて仕方がありません。私にとって「文理」は最高の塾です!



甲府市 小瀬校 宮下校舎長
甲府地区の文理で大活躍中の宮下校舎長。大手予備校から文理に入社し、郡内地区・甲府地区と大成功を収めている彼の地域にかける熱意とは……



富士宮市 小泉校 遠藤校舎長
塾銀座と呼ばれる国道139号線沿いで生徒が一番多く通う学習塾に育て上げた遠藤校舎長。この冬、受験生にかける強い思いとは……

私たちは『授業料』をいただき、生徒指導に当たっております。ただ、これは特に大手では「授業の披露」のみを意味していることが多くあります。しかし、文理学院での『授業料』とは「成績の維持・向上に向けた動き全体」への対価を意味しているのだと私は理解しています。見栄えに力を注ぐのではなく、むしろなりふり構わずに動き、考え、どんな生徒でも必ず成績を上げていくという大命題に対して正面から向き合っていく姿勢をこれからも貫いていきます。

私は一年間の仕事が無事終了するのは、中学3年生が全員志望校に合格した時だと考えています。自分の望みを叶えるために、文理学院を選んでくれた生徒・保護者の皆さんの想いに応えられることは、全員合格以外にありません。

受験は長い道のりです。生徒たちや保護者の皆さんと共に悩み、共に問題を解決し、共に喜ぶために費やす時間を惜しいと思いません。いよいよラストスパート! 共に乗り切りましょう!

1月入塾同時募集中。先んずれば人を制す!